

RA協議会  
第3回年次大会 B-2セッション

# 研究者探索の仕組み構築と課題への対応

2017年8月29日

電気通信大学 研究戦略統括室／統括URA 森倉 晋  
筑波大学 学長特別補佐／URA研究戦略推進室室長 馬場 忠

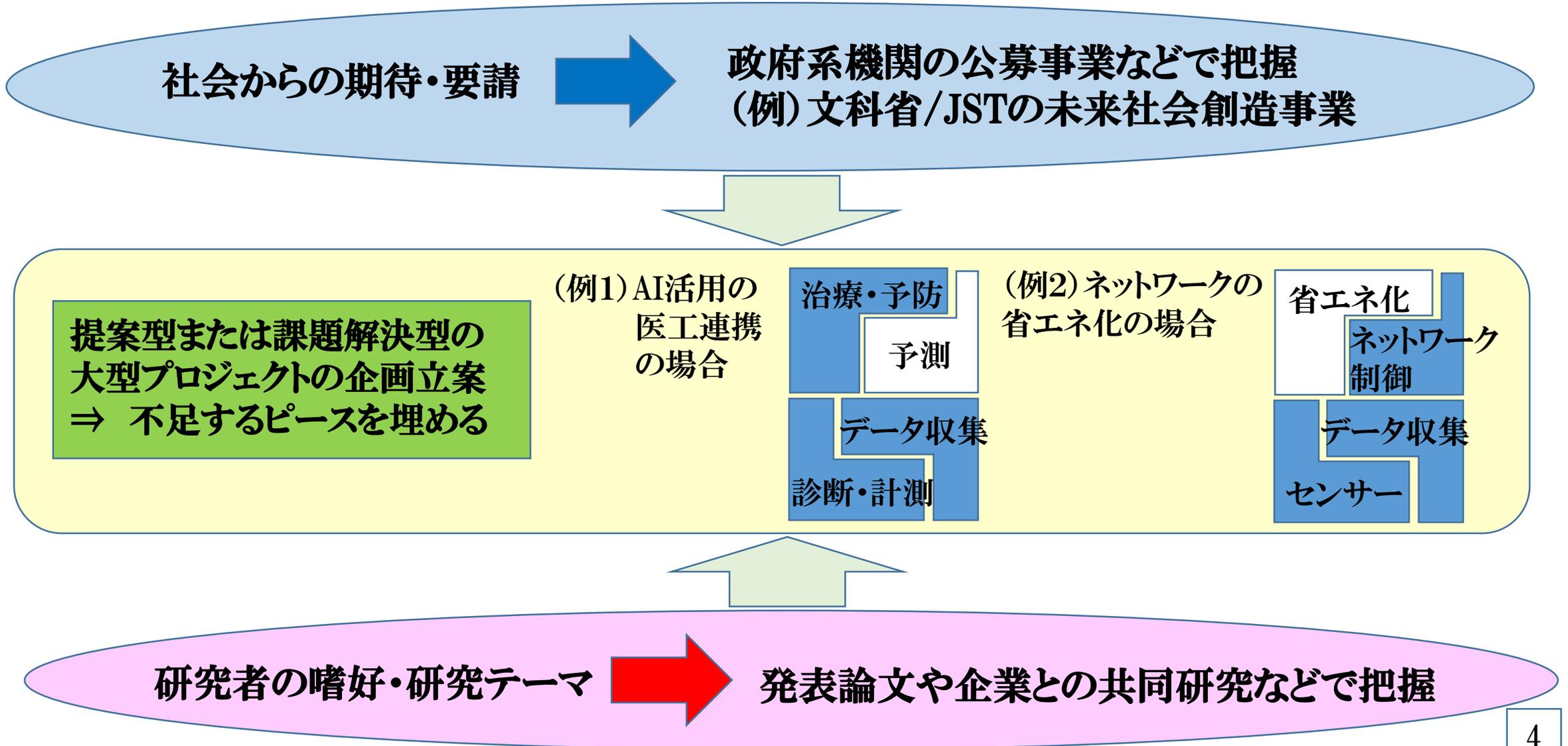
# 本セッションのプログラム

- ①電通大&筑波大:セッションの狙いと位置づけの説明、  
および電通大の取り組み紹介
- ②科学技術振興機構:大型プロジェクトの企画と大学等への期待  
研究開発改革推進部 部長 森本 茂雄 様
- ③名古屋大学 :大型プロジェクト企画の事例紹介  
学術研究・産学官連携推進本部 企画戦略グループ  
リサーチ・アドミニストレータ 田中 亜希子 様

大学などでの研究者の研究環境を安定化し、新たな研究領域を開拓するためには、国の競争的資金や企業との共同研究費など**外部資金の獲得は極めて重要**である。特に、**大型の外部資金を申請する場合**、単科大学や大学院における研究領域の限界、総合大学でも対象とする研究領域における研究者のエフォート率不足などで、**連携する研究者を見つけ出すのが困難**な場合がある。

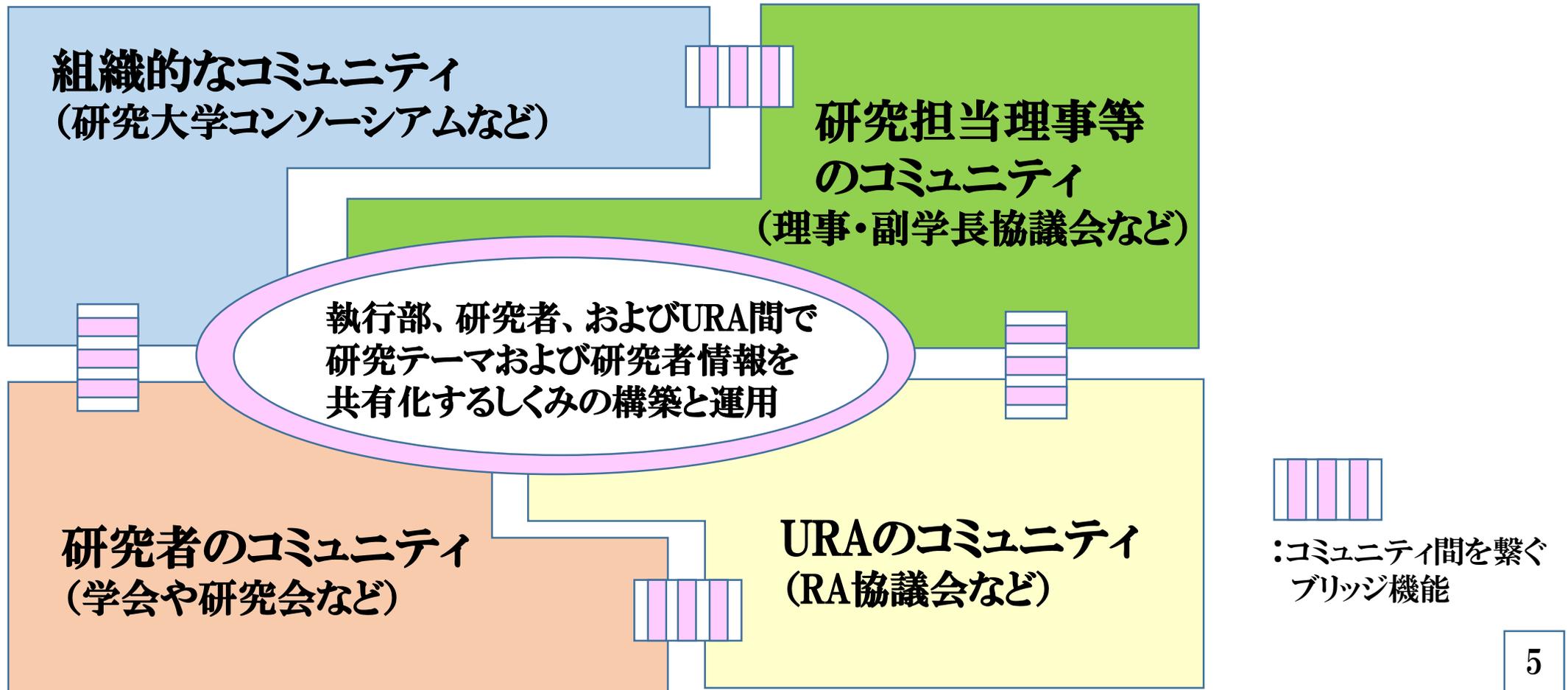
本セッションでは、**連携する学内外の研究者を探索するための仕組みや事例の共有化**、さらに政府系の**大型外部資金獲得を推進できる人材 (URAなど) の確保や育成方法**などについて討議する。

# 狙い①：大型のプロジェクト企画の考え方

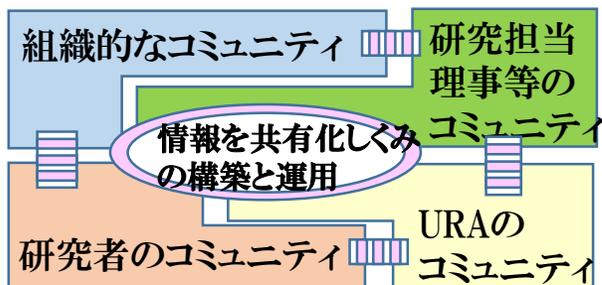


## 狙い②：大型プロジェクトを構成するメンバーの探索の場

- メンバーを探索するために、いろいろなコミュニティを有機的に活用する。



## 狙い③：大型プロジェクトを企画する人材の確保と育成



大型プロジェクトを企画する  
人材に必要な7項目(案):

- ①国や大学等の方針を理解する能力
- ②研究テーマの理解力、洞察力
- ③複数研究者のマネジメント力  
(異分野とのコミュニケーション力)
- ④費用対効果を見極める能力
- ⑤スケジュール管理能力
- ⑥研究成果の発信力、研究政治力
- ⑦自己成長に向けた企画力

### 企画人材の確保で、 特に注目すべき項目

#### ●シニア研究者

- ①国や大学等の方針を理解する能力
- ②研究テーマの理解力・洞察力
- ③複数研究者のマネジメント力  
(異分野とのコミュニケーション力)
- ⑥研究成果の発信力
- ⑥当該分野での研究政治力

#### ●シニアURA

- ①国や大学等の方針を理解する能力
- ②研究テーマの理解力・洞察力
- ③複数研究者のマネジメント力  
(異分野とのコミュニケーション力)
- ④費用対効果を見極める能力
- ⑤スケジュール管理能力

### 企画人材の育成で、 特に注目すべき項目

#### ●若手研究者

- ①国や大学等の方針を理解する能力
- ②研究テーマの理解力・洞察力
- ③異分野とのコミュニケーション力
- ⑦リーダーシップと研究指導力
- ⑦バランスの良い研究テーマ設定力

#### ●若手URA

- ①国や大学等の方針を理解する能力
- ②研究テーマの理解力、洞察力
- ③異分野とのコミュニケーション力
- ④スケジュール管理能力
- ⑦目利き力・突破力・完結力

若手を取り巻く環境整備が先決？

## ①順天堂大・星薬科大との連携（2016/12） ～ネットワーク型URA」のつなぐ機能による 組織間異分野連携体制の構築～



設置形態の垣根を超えた  
学術連携交流協定の締結

順天堂大学

星薬科大学

組織間連携

## ②UECアライアンスセンター（2017/4）

産・産・学連携により、  
新規ビジネスを創出

学内外のベンチャー  
企業が集う「ベンチャー  
・コミュニティ」

**共創の場**

異業種の企業、ベンチャー、教員、学生達が  
相互に交流して、新たなイノベーションを創出。

セキュリティ、光技術、ワイヤレス技術、  
ライフサイエンスなどで世界トップレベル  
の研究拠点

企業・ベンチャー連携

## ③URA共創プラットフォーム（2017/4）

～ネットワーク参加者が集い議論するRealな場と、  
コミュニケーションを活性化するVirtualな場を提供～



URAコミュニティ

## ④UECコミュニケーションサロン（2015/5～）

回	テーマ/プレゼンター（抜粋）
1	「総合コミュニケーション科学とUEC」（梶谷学長顧問）
2	「つながりが創発する”知”/人工知能」（栗原教授）
7	「超高感度電子分光装置で見えないものを見る」（山北准教授）
8	「物理 × 人工知能 × エネルギー学を融合した分野横断型研究の魅力」（曾我部准教授）
9	「データが拓く新しい制御の世界-データ駆動制御・予測・推定」（金子教授）



学内連携

URAの活動や成果等を発信し、**新たな価値創造につなげる場**として、  
URA同士のネットワーク活動を活性化させるプラットフォームを整備。

## Real Network:「UEC/URAネットワークオフィス」

- ①電通大100周年キャンパス内の  
**UECアライアンスセンター205号室に設置。**
- ②実務上の課題やノウハウの共有を行う研究会、  
URAの資質向上に資するセミナー等を  
定期的開催。



## Virtual Network:「ポータルサイト、SNSなど」

- ③SNSによる継続的な情報交換
- ④URA業務に関する様々な情報発信サイト
  - ・URAの成果事例
  - ネットワーク参加者から随時収集・掲載
  - ・合同セミナー等のイベント案内を掲載
- ⑤メンバー向けにメールで情報配信



### URA共創プラットフォームの概要

大学や研究機関における研究推進体制の整備、研究力強化を目的として、URAの設置が進んでいるが、URAの推進業務は、所属機関の状況やニーズにより多様で広範囲に渡っている。今後、URAの普及定着とともに、URA機能の向上を図ることが我が国の研究力強化にとって不可欠であり、URA同士がネットワークを組み、成果やノウハウを共有することが有効である。

このため、URAの活動や成果等を発信し、新たな価値創造につなげる場として、URA同士のネットワーク活動を活性化させるプラットフォームを整備する。

<目次>

具体的な活動：
 

- ・第1回(4/21)と第2回(6/16)に、大学、研究機関、企業等から約100名参加
- ・今後、大学等のURAホームページの見える化や研究テーマの紹介などを実施予定

## 1) 大型の外部資金獲得に向けたプロジェクト企画の策定方法

- 研究分野や領域の設定方法：トップダウン and/or ボトムアップ
- 分析手法：独自の方法 and/or 市販ツール
- 対象とするメンバーのリストアップ方法：学内 and/or 学外

## 2) 上記プロジェクト企画による大型の競争的資金申請への進め方

- 申請先の対象と探索方法：政府系 and/or 自治体
- 企業との連携方法：直接（共同研究） and/or 間接（研究機関）
- メンバーの役割分担：執行部 and/or 研究者 and/or URA

## 3) 上記プロジェクトの企画立案および資金申請を推進できる人材（URAなど）の確保と育成方法

- 経験豊富な人材の確保か？ 将来に向けた若手人材の育成か？
- URAはどこまで頑張るか？ 研究者との協働の方法は？